

13. 廃棄物等

【予測に対する基本的な考え方】

廃棄物については、事業により表-13.1 に示す項目により、事業実施区域周辺の環境に影響を及ぼす可能性が想定されました。

このため、これらの項目について、起こりうる環境の変化を把握して環境へ与える影響を予測しました。

表-13.1 廃棄物等に及ぼす環境影響の要因

廃棄物	建設中の影響 (工事の実施)	建設後の影響 (土地又は工作物の存在 及び供用)
建設工事に伴う副 産物	<ul style="list-style-type: none">・ ダム堤体の工事・ 原石の採取の工事・ 施工設備及び工事用道路 の設置の工事・ 建設発生土の処理の工事・ 道路の付替の工事・ 取水・放流工の工事・ 導水路の工事	—

【予測に必要な調査結果の概要】

表-13.2 に示す項目に関して環境への負荷が予測されました。

表-13.2 建設副産物発生源

建設発生土
コンクリート塊
アスファルト・コンクリート塊
脱水ケーキ
伐採木

【予測結果及び保全対策の概要】

「建設発生土」は、道路の付替の工事での利用や建設発生土処理場により、十分処理可能と考えられます。

「コンクリート塊」及び「アスファルト・コンクリート塊」は、全て事業実施区域及び区域外の間処理施設での処理後に再生利用を行う計画です。

「脱水ケーキ」は、ダム堤体の工事及び取水・放流工の工事により約 13 万 m³ 発生し、環境への不可が生じると予測されます。そのため、環境保全対策として発生の抑制及び再利用の促進を図ります。

「伐採木」は、全て有価物としての売却やチップ化等の処理後に再利用を行う計画です。

13.1 予測結果

13.1.1 予測手法

予測の対象とする影響要因及び環境影響の内容は表-13.3 に示すとおりであり、建設工事に伴う副産物の発生による環境への負荷の量を予測しました。

表-13.3 予測対象とする影響要因と環境影響の内容

	影響要因	環境影響の内容
工事中の影響 (工事の実施)	<ul style="list-style-type: none">・ダム堤体の工事・原石の採取の工事・施工設備及び工事用道路の設置の工事・建設発生土の処理の工事・道路の付替の工事・取水・放流工の工事・導水路の工事	建設工事に伴う副産物の発生による環境影響への負荷の量の程度

(1) 予測の基本的な手法

工事の計画から建設副産物（建設発生土、コンクリート塊、アスファルト・コンクリート塊、脱水ケーキ及び伐採木）毎の発生状況を把握しました。

(2) 予測地域

予測地域は事業実施区域としました。

(3) 予測対象時期等

予測対象時期は工事期間としました。

13.1.2 予測結果

(1) 建設発生土

建設発生土は、ダム堤体の工事や道路の付替の工事等により約 400 万 m³ 発生すると予測されますが、道路の付替の工事での利用や建設発生土処理場により、十分処理可能と考えられます。

(2) コンクリート塊

コンクリート塊は、ダム堤体の工事による発生が予測されますが、全て事業実施区域及び区域外の間処理施設での処理後に再生利用を行う計画です。

(3) アスファルト・コンクリート塊

アスファルト・コンクリート塊は、ダム堤体の工事による発生が予測されますが、全て事業実施区域及び区域外の間処理施設での処理後に再生利用を行う計画です。

(4) 脱水ケーキ

脱水ケーキは、ダム堤体の工事及び取水・放流工の工事により約 13 万 m³発生し、環境への負荷が生じると予測されます。

(5) 伐採木

伐採木は、貯水予定区域及び導水路の工事における樹木の伐採及び除根により約 8 万 m³発生すると予測されますが、全て有価物としての売却やチップ化等の処理後に再利用を行う計画です。

13.2 環境保全対策

予測の結果から、建設発生土、コンクリート塊、アスファルト・コンクリート塊及び伐採木については、影響は小さいと考えられるため、ここでは脱水ケーキについて環境保全対策を検討しました。

環境保全対策の内容は表-13.4 に示すとおりです。

表-13.4 廃棄物に係る環境保全対策

項目	環境影響	環境保全対策の方針	環境保全対策	環境保全対策の効果
建設工事に伴う副産物	脱水ケーキ 環境への負荷が生じる。	脱水ケーキの発生の抑制及び再利用の促進により廃棄物としての処分量の低減を図る。	○発生の抑制 濁水処理設備による機械脱水等を適切に行い、効率的に脱水ケーキ化を行う。 ○再利用の促進 強度の向上等の所要の処理を行い、盛土材、埋戻し材等として事業実施区域内での再利用を図る。	発生の抑制及び再利用の促進により、建設工事に伴う副産物の処分量が低減することから、事業者の実行可能な範囲内で環境への影響はできる限り回避・低減されていると考えられる。

13.3 評価結果

廃棄物等については、建設工事に伴う副産物について予測を実施しました。

影響予測の結果、脱水ケーキについて環境への負荷が生じると考えられたことから、環境保全対策として発生の抑制及び再利用の推進を実施することとしました。環境保全対策の実施により、脱水ケーキの処分量は低減されるものと考えられます。

建設発生土、コンクリート塊、アスファルト・コンクリート塊及び伐採木については、影響は小さいと考えられます。